

## アナログ経営がますます輝く時代へ (5)

### 『すべては可能性』

『すべては可能性』これは、当グループ全体の経営理念にも用いている共通のキーワードです。会社も社員も日々成長し続けるために、新会社設立、新規事業、新組織体制、新企画、新提案など、様々な新たな試みを行い続けます。そのすべてにおいて、常にそばにあるのが『可能性』です。可能性が無ければ、新たなことに挑戦できるチャンスは巡って来ず、成長も出来ません。会社も社員も、社内外を問わず、相手に自分の可能性を感じてもらい、今以上のステージに挑戦させてもらうことで、新たな経験を積み、初めて成長できるのです。その可能性を感じてもらおう事がいかに大変で、かつ重要なことなのか、当社も、私自身も、これまで嫌というほど経験し実感してきました。

ここで私たちの創業当初の話をしたいと思います。出発点は、小さなアパート

の畳の部屋でした。手製の会社案内と、ギザギザのミシン目の縁取りでインクが滲んだ名刺を片手に、お金も人脈も信用も実績も無い状態で営業をしていました。そんな中で頼れるものといえば、自分たちへの可能性だけでした。そして、その可能性を感じてもらうために最も重要なこと、それこそがこのコラムの第一回目に話した『当たり前を高める』ことなのです。当時の会社の規模はとても小さく、上場企業のようなことは出来ないけれど、規模に関係なく出来ることは上場企業に負けないレベル、いやそれ以上に行っていこう！そんな想いで『当たり前』と言われることに全力で取り組み、まだ見ぬ仲間の顔を思い浮かべ踏ん張り、乗り越えてきました。そして、そんな私たちに少しずつ可能性を感じていただきチャンスを下さる企業様が増えていったのです。

日々の業務の中でも、あらゆるところで新たな可能性が芽生え、それを周囲は感じ取り、見ていると思います。「○○さん、この業務はやったことが無いかも知らないけど、やってみるか!?!」「○○さんをお願いしてみようか!?!」と。これらすべてが可能性なのです。

仕事において『信頼が大事』とよく耳にしますが、実は、信頼とは、過去の実績から得られるもので、その実績は挑戦しなければ手に入りません。挑戦するためには可能性を感じてもらい、そのために当たり前を高めることがカギになるのです。つまり『信頼←実績←チャンス←可能性←当たり前を高める』と表せます。可能性によって自らの壁を壊し、新たな未知への第一歩を踏み出すことで、人も会社も、もっともっと成長できるのです。



笠井 大祐

BCホールディングス株式会社  
代表取締役社長

「賃料適正化サービス」のパイオニアであるビズキューブ・コンサルティングを2001年に創業。その後、2010年7月ホールディングス体制へ移行し、店舗経営に特化したコンサルティング会社として事業領域を広げ、現在は、コスト適正化事業、教育事業、人材サービス事業、マーケティング事業、不動産情報事業、海外進出・日本進出支援事業、店舗経営事業の7つのセグメントで日本、タイにおいて事業を展開。今後もグループの様々なサービスで積極的にサポートし、アジアのみならず世界のサービス業のトータルソリューションカンパニーを目指す。  
<http://www.bc-holdings.co.jp/>